

会 議 録

1 会議名

令和7年度第11回大島区地域協議会

2 議題（公開）

1 報告

(1) 上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）について

(2) 地域独自の予算事業の一覧について

2 その他

(1) 市民と市長との対話集会『スマイルミーティング』の開催について

(2) 令和8年度第1回地域協議会の開催日について

3 開催日時

令和8年3月24日（火）午後6時30分から7時25分まで

4 開催場所

大島コミュニティプラザ 2階 市民活動室1

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：高野会長、岩野副会長、飯田委員、牛田委員、江口委員、中原委員、中村委員、布施委員、丸田委員、本山委員

・事務局：資産活用課 敷波係長、杉山主任、大島区総合事務所 佐々木所長、本山次長、武田市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ 高橋班長

8 発言の内容

【高野会長】

・会議の開会を宣言。

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

- ・本日の会議録の確認は、江口委員にお願いする。
- ・報告事項（１）上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）について事務局に説明を求める。

【杉山主任】

- ・資料１に沿って説明。

【高野会長】

- ・事務局の説明に対し、質疑を求める。

【牛田委員】

- ・今、説明いただいたのは、今後、市がこういう方向性で、計画に則って活動してよいかと聞かれているという認識でよいか。

【敷波係長】

- ・公の施設の適正配置、適正管理、受益者負担の適正化という３つの取り組みについて、今後、このような方針で進めたいということで、説明に参った。

【江口委員】

- ・資料 No. 1 に、施設の機能集約が進んでおらず、未だに多い状況と記載してあるが、何が原因なのか。

【敷波係長】

- ・これまでは、残す施設よりも廃止する施設を選んできたような形だと思っている。
- ・全ての施設を高い水準で残していくということは難しい。
- ・適正配置を進める上で、地域の皆様との合意形成を図りながら、今後の地域にとって必要なものを残していくようなことを目指していきたいと思っている。

【江口委員】

- ・目標の施設件数はあるのか。

【敷波係長】

- ・数値的な目標を持って臨むということは、今のところない。
- ・維持管理経費が将来的な行財政運営の負担になるようであれば、件数というより、管理運営費や修繕費といった経費の上で、目標値というようなものが出てくるかもしれない。

【江口委員】

- ・中山間地の方が不利ではないか。少子高齢化で利用率も下がっている。施設が老朽化

して、何も残らないような気がする。

【敷波係長】

- ・地域の将来として、例えば20年先に、この施設が地域の核になる施設だろうというものがあるれば、それを残していく。
- ・地域にとって何を残せばいいのか、地域の方はどういうものに期待しているのかを、選んでいく形になるかと思う。
- ・あわせて、残した施設の適正な管理の仕方を工夫するとか、利用促進を図っていくなど、いろいろな方策を、検討していくことになるかと考えている。

【中村委員】

- ・集約するとなると、撤去する施設が出てくる。維持にも費用がかかるが、撤去も膨大な費用がかかる。維持管理と撤去、どちらを優先していくのか。

【敷波係長】

- ・いろいろなやり方があり、例えば、国の補助金などを受けることができるチャンスに、取り壊しを進めたい。
- ・民間企業による廃校の利活用の募集についても、春から進めていきたいと考えている。活用してくださる方がいれば、取り壊さずに譲ったり、利活用したりできる。なるべく負担がかからないような取り組みをしていきたい。

【牛田委員】

- ・資料の公の施設白書の中にある、大島区内の公の施設の一覧に載っている施設について聞きたい。大島区の地域協議会の自主的審議の中で、農村公園についての話し合いを、1年ほど進めている。大島区には、農村公園がたくさんあるが、大島区内で公園を集約したうえで、1つの公園に対して経費をしっかりとけてもらえるような提案をした場合、聞いてもらえるものか。

【敷波係長】

- ・農村公園なので、農林水産整備課が所管課となり、今回の適正配置計画の対象の施設となっていない。
- ・令和12年度までの第4次の適正配置計画が終わった以降の、第5次の計画の時にどんな施設を残していくか、どういう在り方がいいかということ、地域の皆さんと協議をしていけたらよいと思っている。

【牛田委員】

- ・第5次の計画まで待たなければ公の計画には載ってこないのか。地域協議会委員の任期があと2年あり、その中で、自主的審議事項の協議が具体的に進んでもよいものか。

【佐々木所長】

- ・大島区地域協議会の自主的審議事項は、先進的な取組であると思っている。今、協議していることを、第5次の計画に合わせて遅らせるということは考えていない。そこはそこで進めていき、結果を出してもらいたいと考えている。
- ・市全体としてのスケジュールは持っているが、大島区ではどこを活かしていくかという議論を先進的にしていただきたい。

【牛田委員】

- ・公的な計画を待たずに先んじて議論を進めてさせていただいてよいということか。

【敷波係長】

- ・お話を伺っているかぎり、大きな方向性は同じだと思っている。
- ・計画というのは、目標として、基本的な考えとしてあるものなので、先進的な取り組みで、1歩先んじて進むことについてブレーキをかけるものではないと思う。これまでの適正配置計画や統廃合計画でも、計画外のものを前倒しで行っている。
- ・地域の皆様が先進的に取り組んで、合意、納得のもと、整備することについては、素晴らしいことだと思う。

【中原委員】

- ・廃校プロジェクトは、どのような形で周知や募集をしているのか。去年行ったサウンディングについても、地域協議会にいたから知ることができたが、まず情報が入ってこない。認知度はどの程度になっているか。

【敷波係長】

- ・みんなの廃校プロジェクトは、文部科学省が主体でやっている。利活用をしてくれそうな業者に関心を持ってもらえればよいというような形で、以前行ったものも民間の事業者にも事前調査という形で情報発信をしたもの。
- ・特段どのように使ってほしいということではなく、現状として、どこに廃校になった施設があるというのを情報提供し、利活用する事業者が、ここが気になるという形でお尋ねをしてくる感じとなっている。

【牛田委員】

- ・以前募集した廃校プロジェクトは法人限定であったが、これは国の指針か。

【敷波係長】

- ・今回上越市で行ったサウンディング型市場調査については、少し制約をつけ、市としては、あまりお金をかけないという条件で、利活用してくださる方はいらっしゃいませんかという募集をした。
- ・学校というのは、敷地は広大であり、建物は鉄筋コンクリート造で大きく、かなり堅牢な施設になっている。これを別の用途で使うとなると、初期投資がかなり必要である。また、長年にわたって維持管理運営修繕しようとする、かなりの経済力や体力が必要となる。また、退去したときに元に戻してもらわなければならないという心配もあるため、市の独自の判断で法人に限定させていただいた。
- ・地域の方も納得するような使い方をして、やめるときには、また同じように返ってくるというのを目指した結果である。
- ・今年度行った市場調査でも、今後希望があれば対応することとしているし、今後も継続して募集していきたいと思っている。
- ・こういう条件をつけてもいいのではないかなど、お気づきの点があったら、ご要望いただければ、参考にさせていただけると思っている。

【高野会長】

- ・他に質疑を求めるもなし。
(資産活用課 敷波係長、杉山主任 退出)
- ・報告事項（２）地域独自の予算事業の一覧について事務局に説明を求める。

【本山次長】

- ・資料２に沿って説明。

【高野会長】

- ・事務局の説明に対し、質疑を求める。

【中村委員】

- ・補助率がばらばらだが、何か基準はあるのか。

【佐々木所長】

- ・地域独自の予算は、前身が地域活動支援事業となる。そこから継続している事業は９０％となる。新規事業は７０％となっている。

【高野会長】

- ・他に質疑を求めるもなし。
- ・その他事項（１）市民と市長との対話集会『スマイルミーティング』の開催について事務局に説明を求める。

【高野会長】

- ・事務局の説明に対し、質疑を求める。

【江口委員】

- ・テーマは決まっているのか。

【本山次長】

- ・特に決まっていない。市長から政策等を説明させていただき、その後大島区の事業などの説明をさせてもらってから意見交換をさせていただく流れとなる予定である。

【佐々木所長】

- ・説明を１５分程度行って、議論を１時間程度行うイメージでいていただきたい。
- ・フリー参加なので、申込みが必要ではないが、人数把握のため委員の皆さんに出欠を確認させてもらう場合がある。地域協議会委員の立場で出席をお願いしたいというわけではない。

【高野会長】

- ・他に質疑を求めるもなし。
- ・その他事項（２）令和８年度第１回地域協議会の開催日について、来年度も第３火曜日の開催としたい。次回は、４月２１日（火）午後６時３０分から大島コミュニティプラザで開催することとしてよいか。

（「はい」の声）

- ・ほかに発言を求めるもなし。
- ・それでは、以上をもって第１１回地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-594-3101（内線63）

E-mail：oshima-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。